

「とれたて朝市にゆうぜん」に取り組んで

吉原漁協婦人部
部長 浜岸はづみ

1. 地域の概要

私たちの住む入善町吉原は、富山県の東部に位置し、新潟県境にほぼ近い黒部川扇状地が広がる日本海に面した小さな漁村集落である。

当入善町には7kmの海岸線に3つの漁村があり、東側より横山地区・吉原地区・飯野地区となっており、吉原は海岸線の中央の位置にある。

2. 漁業の概要

漁業は定置網漁業と雑刺し網漁業が主で、延縄・一本釣の他、期間を決めて潜水漁業も行っている。

10年ほど前までは漁業者も沢山おり、さより船曳・小型底曳・まき刺し網など多くの漁法を行い、浜は活気にあふれていたが、年々漁業者人口は減少し、また後継者不足となつてるのが現状である。しかし、依然として漁業は当地域での重要な産業となっている。

吉原漁協 平成10年12月末

・正組合員	54名
・准組合員	76名
・主要漁業	大型定置網漁業 小型定置網漁業 固定式刺し網漁業 潜水漁業、一本釣り
・水揚金額	2億831万円

3. 研究グループの組織と運営

私たちの漁協婦人部は昭和37年に設立され、現在の部員数は55名である。役員は3地区から3名ずつ選出された中から部長1名、副部長2名、地区役員6名(うち3名監事)で構成されている。

漁協婦人部は、部員相互の連絡を密にし、協同意識の高揚につとめ、漁家経営の安定と漁村生活の向上を図ることを目的として、漁協の事業に積極的に参加し、活動をしている。

具体的には、漁協の貯蓄推進運動や合成洗剤追放・天然せっけん使用運動の推進、各種研修会や各種イベントへの参加など、数多く活動をしている。

今日はその中でも平成10年7月から始まった入善町主催の「とれたて朝市にゆうぜん」への参加、出店した活動報告をする。

4. 研究・実践活動課題選定の動機

より健康で快適な暮らしが求められている中で、食料に対する消費者の新鮮・安全・安心志向は年ごとに高まっている。

そこで、自家生産物・農産加工品と季節感あふれる水産物のPRも兼ねて、生産者の顔

が見える新鮮で安全な品物を消費者に直接提供することにより、消費者に安心して利用してもらうことを目的として、「とれたて朝市にゆうぜん」が開催されることが平成10年4月に決まった。

町からこのような目的による企画があることの連絡と組織図が送付され、あわせて第1回「朝市」実行委員会の会議に出席願う要請文が来た。

当日、実行委員会の会議に出席して、町からの企画説明が終わった後、フリートーキングとなり、出席者の方々からの「獲れたての魚、食べたことないぜ、是非食べたいぜ」との要望に大いに感動を覚えた。

実際のところ、私たちは今まで魚を獲ることにばかり専念し、魚の流通や消費者の気持ちについてはあまり気にもしていなかったのが事実である。これまでは獲れたての魚を食べているのが当たり前だと思っていた。

その場で、私は『町の人たちは朝の獲れたての魚を食べたことがないんだ、この機会に吉原のきときとの魚を知ってもらおう、食べてもらおう』と思った。

そこで早速、次の日に漁協の参事さんに話をしたところ、快く賛同してくれた。また、漁協の参事さんから地元の定置網の船頭さんに趣旨を説明してもらったところ、船頭さんにも快く賛同してもらった。あとは婦人部をまとめるだけだと思い、婦人部役員会を開いて実行委員会での内容を話し、参加・協力をお願いした。

ところが、役員の中から「売れようか?」「朝の忙しい時間に出られない」「そこまでしなくても」との非協力的な意見も出て、私は内心ガックリした。

しかし、ここであきらめては漁協婦人部の輪がまた小さくなると思い、ふたたび婦人部役員会を開き「吉原の魚をPRする絶好のチャンスでもあり、鮮度など品質について消費者の声を直接聞けるし、また「婦人部員全員の協力のもとで魚を直に売れば、部員の輪がさらに大きく広がるのではないか」との思いで、漁協の参事さん・定置の船頭さんの後押しを受けながら、婦人部役員会の席で積極的にアピールした。

その結果、一度だけでも「とれたて朝市」に参加・出店してみることにどうにか決まった。

5. 研究・実践活動の状況及び成果

「とれたて朝市にゆうぜん」は、7月から12月まで毎月2回（第2土曜日、日曜日）開催されることが決定していたが、当吉原漁協婦人部の出店は、日曜日が定置網の休日とことから、毎月1回第2土曜日に部員が3名ずつ交代で参加することを婦人部役員会で決めた。

7月11日(土)の第1回目「とれたて朝市にゆうぜん」が開催されるまで、数回に渡り「朝市」実行委員会の全体会議が町民会館で行われた。

「朝市」の開催場所は入善町民会館前の回廊広場とし、朝7時30分から9時まで実施、また開催に伴う役割分担や広告宣伝方法などを協議し、それぞれの出店の場所も決められた。

資材などは町が全て準備し、決められた各出店コーナーに配置するように決めた。

私たち吉原漁協婦人部も7月11日に向け、組合の研修室で漁協の参事さん、定置網の船

頭さんを交えて、その時期に獲れる鮮魚の選定、販売する数量、値段、また当日荒天により漁が無かった場合の対応など話し合った。話に夢中になり、時には時間を忘れて、気が付くと夜の10時を回っていたこともあった。

このように、参加協力できる部員で四苦八苦しながらも段取りをして、開催日を迎えた。

当日「とれたて朝市」には、私たち吉原漁協婦人部が担当する鮮魚コーナー店はもちろんのこと、各グループが担当する18店舗の模擬店が回廊の周りに設置された。

さて、私たちの販売品は第1回目ということから、消費者であるお客さんがどれだけ集まるか予想がつかないこと、また荒天により網起こしができないときの代替品(加工品)の用意をしなければならないことから、鮮魚の品目、販売数量を控えて準備した。(下表)

今回出番の部員の方3名と漁協職員の方々が準備のために朝7時近くに回廊に集まったときには、店舗の开店準備をする人ばかりが目立ち、お客さんは数える程しかいなかったため、私たちは不安になった。「どうしよう、品物が残ったらどうしよう」という気持ちと焦りが込み上げて来た。

7月	鮮魚品	加工品(代替品)
販売品目	中タイ 7尾	ゆでカニ100パイ
	小タイ 30尾	中おち32箱
	中アジ 100尾	ねぎとろ15箱
	ツバイソ 30尾	あさり貝30袋
	シマダイ 30尾	

「仕方ないにか、残ったら自分たちで買って帰ろうよ」と話をしながら準備をした。

ところが、7時を過ぎたころからお客さんが続々来はじめた。しかも私たちが販売する鮮魚コーナーに集まり、見る見るうちに混雑して来た。中には「7時半から始まるのわかってるけど早く売らっせよ」「よっしゃらの魚買いに来たがいぜ」などと声をかけられ、準備をしていた私たちは、その意外な状況にビックリするとともに「頑張ろう」という気持ちになった。

7時30分、実行委員長さんの鐘の合図とともに販売が始まった。それまで各出店コーナーなどで品定めしていたお客さんが、一斉に私たちのコーナーに群がって、新鮮な朝獲れの魚を我先にと買いに来たのである。私たちは息つく暇もないほどにお客さんとの対応に追われ、気が付いてみれば朝獲れ鮮魚はもちろんのこと、網起こしが出来ないときの代替品(加工品)までが15分足らずで全て完売していた。「やったぜ!よかったぜ!」私たちは口々に言い交わした。販売した鮮魚も少なかったこともあるが、やはり「吉原のさかな」は人気があるのだと実感した。

吉原の地先で獲れる魚はブリ・タイ・ヒラメの高級魚から、アジ・サバ・イワシのような大衆魚まで魚種は沢山ある。それぞれ地方により呼び名が違う魚もある。たとえば学名「イシダイ」を一般的には「シマダイ」と呼ぶ。しかし、吉原では「タカワ」と呼んでいる。なぜだか分からないが、昔からこのように呼んでいるのである。

このように、訪れたお客様にいろいろな魚の名前を知ってもらったり、料理の仕方など教えたりして、魚に関心をもってもらった。毎月1回の出店だが、2回3回と回を重ねるごとに「吉原の魚は鮮度が良くておいしい」と評判になり、品目・数量を少しずつ多くしていった。また、お客さんとの対話や対応も最初はぎこちなかったものがスムーズになり、婦人部員同士のコミュニケーションも以前にも増して良くなったと思っている。

6. 波及効果

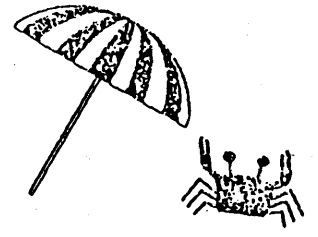
「とれたて朝市」を7月から12月までの6回出店して、本当に新鮮な魚というものはどんなものか、少しは消費者に分かってもらえたものと私たちは感じている。また、これからは漁村以外の人たちに「朝獲れの魚や魚食に対する興味」をもっと持ってもらうように、私たち吉原漁協婦人部は心掛け、努力したいと思っている。

7. 今後の課題

最終の朝市を終え、「朝市」に参加した部員のみなさん、漁協の職員の方々、また、朝獲れの魚を提供してもらった定置網の船頭さんに集まってもらい、12月19日に反省会をした。

そのときに出された意見や今後の婦人部活動を通じ、「とれたて朝市にゆうぜん」に参加した全ての人たち、またお客さんにもっと楽しく、喜んでもらえる「朝市」にしていくことをこれからも企画し、今後も漁協婦人部の協同意識の高揚につとめると共に、漁村婦人としての教養を高めていきたいと思っている。

とれたて 朝市 にゅうぜと



入善町民会館
回廊
7時30分～

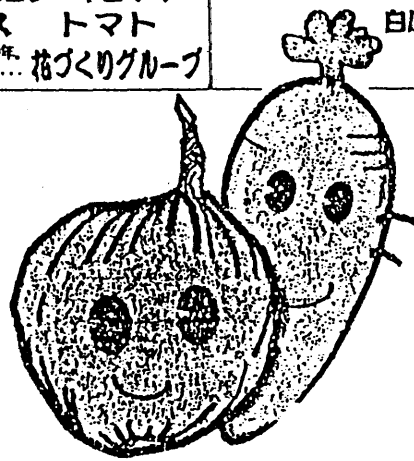
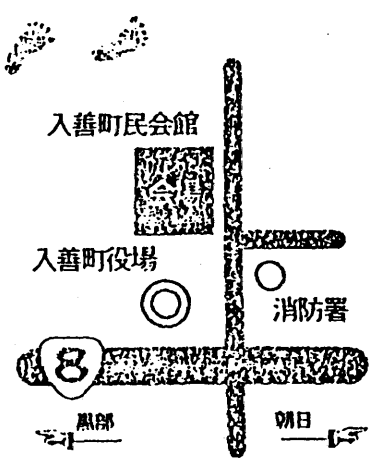
8月8日(土)
8月9日(日)

Vol. 2

涼を味わおう、畑と海の夏。

7月に開催した第1回「とれたて朝市にゅうぜん」は、お陰様で大勢の人でにぎわいました。
8月は「涼」をテーマにした新商品が勢ぞろい。
近所の人にもひと声かけて、ぜひ入善町民会館に足を運んでください。

タマネギ 枝豆 ナス 小カブ 味噌 揚げもと 生煎との相棒が中心の老練グループ 玉女の会	押し寿司 1パック 300円 豆おこわ 1パック 300円 きやらぶき 1ヶ 450円 おふくろの味が魅力の本格派 山百合グループ	ジャガイモ ニンニク ミニカボチャ ミヨウガ ナス 水仙 野菜作りにホ・わら加工もOKの万能店 たかねグループ	カタウリ ビーマン ミニトマト 豆類 タマネギ ネギ 家庭の健康をテーマにするいきがい派 こぶひグループ
ヘチマ水 1本 350円 鯉腐水 1ヶ 300円 からし漬 1ヶ 120円 美容と健康が永遠のテーマの四人組 ヘチマグループ	野菜 鶏 ラッキョ漬 奈良漬 晒干し ブームになった団莖の歴史起こし役 趣味の園芸	牛乳 1ℓ 210円 Uコーヒー 100円 お茶 250円 リンゴジュース 100円 健康コーナ-あります ミックスジュース 100円 新鮮な牛乳の魅力にこだわる達人たち 酪農婦人部	関タラ 1枚 1,400円 コマイ・カレイ 1箱 500円 北洋伊達 1箱 1,200円 マス 1尾 700円 浜っ子ならではの特別な味が特徴 越前産物協同組合
ジャガイモ ナス ビーマン インゲン } 1袋 100円 花ピン、団莖、タワシ、輪切花、ふきん等 買収せず、朝ばさめく開張なお店 新山むつみ園	ネットメロン 20個限定 1kg当たり 300円 若さと行動力で勝負するさわか果園 入善高校農業科	焼きイモ 1本 200~300円 コーヒー 1杯 200円 豊かな感性を巧みに彩る熟達たち... JA女性部	ベニスイカ(浜ゆで)1箱 350円 マグロの中おち 1パック 550円 あさり 1袋 150円 その他鮮魚あり 新鮮の良さと新鮮な魚介類が売りの店 吉原産物協同組合
モロヘイヤ ツルムラサキ 菊の苗 トマト・ナス 休農田で栽培された野菜が中心の店 あぐり産物協同組合	小菊 奈良漬 トウモロコシ キュウリ ナス トマト 活動を始めて10年、花がいきがい... 花づくりグループ	山菜の粕漬 山菜のピン詰め 白瓜の粕漬 山女会	ホウレンソウ メロン ビーマン ししとうがらし 枝豆 菊 休農された品質と玄人好みの商品に自信 施設園芸協会



朝市に出店する人やグループを募集しています。
自分で作った自製の野菜などを出品してみませんか。
募集中 (問い合わせ先) 入善町環境課水産課
とれたて朝市にゅうぜん事務局 72-1104

販売日程表

- 毎月第2の土・日曜日です！
- ▶ 8月 8日(土)、9日(日)
 - ▶ 9月 12日(土)、13日(日)
 - ▶ 10月 10日(土)、11日(日)
 - ▶ 11月 14日(土)、15日(日)
 - ▶ 12月 12日(土)、13日(日)

【平成10年度朝市参加グループ出店一覧表】

平成10年12月13日現在

グループ名	販売品目	構成 人数	出店 回数	販売 人数
J A 女性部役員	焼きイモ、コーヒー、アクリルワッ	12	12	96
玉女の会	野菜、味噌、漬けもと	38	12	60
こぶし	野菜、豆類	17	12	48
山百合	寿司、豆おこわ、きやらぶき	7	12	60
たんぼぼ	野菜	9	9	27
へちま	へちま水、健康茶、果実	10	8	30
趣味の園芸	園芸苗、野菜、漬け物	35	12	35
花づくり	野菜、切り花、芋、豆	3	11	22
すごろく	野菜	6	1	1
山女会	山菜、寿司、おはぎ、漬け物	4	8	32
キャベツ組合	キャベツ	38	6	19
ネギ組合	ネギ	19	7	9
サフラン組合	サフラン	2	1	1
球根友の会	球根、入浴剤、ハンカチ	86	5	10
施設園芸組合	軟弱野菜、切り花、鉢物	34	12	19
新川むつみ園	野菜、雑巾、陶芸、ポップコーン	61	6	40
入善高校農業科	トマト、キャベツ、ミニトマト、シクラマ	120	10	50
あぐり館実行委員会	野菜、芋、園芸苗	16	12	2
酪農婦人部	牛乳、ジュース、チーズ、バター	10	12	36
飯野漁業・婦人部役員	汐鮭、コマイ、カレイ、マス、サマ	22	5	24
※ 吉原漁業・婦人部役員	か、マグロ、アサリ、鮮魚	13	6	42
米山農産	漬け物	6	4	8
大野松良	ナス、黒豆	2	2	2
嶋田藤一	黒豆	1	1	1
吉田トマト	ミニトマト	2	2	6
板澤忠義	甘瓜	2	1	0
福沢もりえ	メロン	2	1	1
米田竹男	切り花 (グラジオラス)	3	2	5
合 計		580	197	686

とれたて朝市にゆうぜん実施状況報告書

月 日	販売時間	参加外- 店	販売品目 ヶ	販売スタッフ 人	客 数 人	売上金額 円
7月11日(土)	7:15~8:45	18	約50	69	約800	598,300
7月12日(日)	7:30~8:30	15	約60	61	約500	311,540
8月 8日(土)	7:30~8:30	17	約80	65	約600	706,240
8月 9日(日)	7:30~8:30	15	約70	63	約350	339,440
9月12日(土)	7:25~8:30	16	約70	80	約900	641,192
9月13日(日)	7:15~8:30	10	約60	41	約300	306,450
10月10日(土)	7:00~8:30	16	約70	85	約600	581,352
10月11日(日)	7:10~8:30	13	約60	50	約500	455,012
11月14日(土)	7:30~8:30	19	約70	77	約350	596,540
11月15日(日)	7:30~8:20	17	約60	67	約500	429,800
12月12日(土)						
12月13日(日)						
歳ノ市 12月下旬						